

地(知)の拠点整備事業(大学COC事業): 火山と島嶼を有する鹿児島島の地域再生プログラム

平成29年度 地域志向型教育研究
「地域課題解決を志向した健康増進カリキュラムの開発」

研究 目標

地域包括ケアシステム・健康長寿社会など多様なニーズに対応できる実践的臨床能力を有する医師を養成することが求められており、医学教育及び医療行政が両論として医学生や医師を育てるカリキュラムが必要とされている。地域住民の健康の維持向上を目的とした、健康教育や保健指導を適切に推進していく医療者を養成するために、学生が健康増進、健康教育、保健指導について学ぶカリキュラムを構築し、「知の拠点」を担う人材育成教育を試みる。

対象

地域医療に興味のある医学科生、保健学科生、歯学科生

対象地域・宿泊施設

鹿児島県大島郡与論町
与論活性化センター

実習期間

平成29年8月8日(火)～8月11日(金)

実習施設

与論町保健センター

協力

与論町住民のみなさま

指導教員

大脇哲洋(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 地域医療学分野/離島へき地医療人育成センター 教授)
網谷真理恵(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 地域医療学分野/離島へき地医療人育成センター 講師)

参加学生

【医学部保健学科】 4名

【歯学部歯学科】 3名

実習内容

◎医療系実習

地域ニーズについて調査する。地域ニーズに基づいた講話テーマを決定し、行動変容や動機づけ理論を応用し講話スライドを作成する。教官が事前に健康講話会や各専門職種の実務見学の与論町役場、地域医療機関等との調整を行う。

◎フィールドワーク実習(方言調査)

与論での異文化体験および健康講話会を含む医療実習を行う。

◎地域診断実習

観光・食事・住民との触れ合いから、与論島の文化や魅力を考察する。



与論島の海



地域診断実習



地元の方々との交流



発表の様子



発表の様子



船内での様子

実習の流れ

8月8日(火)

18:00 鹿児島新港出発

8月9日(水)

13:40 与論港着

16:00 挨拶等・終了後地域診断研究(打合せ)

19:00 懇親会

8月10日(木)

13:15 乳児健診(講話の実施)

19:00 特定健診・保健指導(グループワークへの参加)

8月11日(金)

午前 活性化センター掃除・後片付け

13:15 与論空港発

14:25 鹿児島空港着・解散